

# 老舗のDNA

群馬の百年企業

高崎市を中心に葬祭業を手掛けるプリエッセ（同市本町）は創業127年を迎えた。「こ

家庭にあつてはならぬ、社会になつては困る」をモットーに、時代とともに変容する最期のお別れの在り方を模索する。1985年の日航機墜落事故や2020年の中曽根康弘元首相の地元合同葬など、県民にとつて忘れ

神仏葬具一式図面の冒頭に描かれた葬列



られない出来事を裏方として支えた縁の下の力持ちでもある。

## 家具から転換

創業は1894（明治27）年。江戸時代から続く鍛冶職人の家に生まれた竹内（武内）孫太郎が常盤町で事業



創業者の竹内孫太郎（提供）

孫太郎のひ孫に当たる5代目・一普社長（51）は「非常に真面目な人柄で、器用だった。棺の製造販売を担った。同社に伝わる大正時代のカタログ「神仏葬具一式図面」には葬

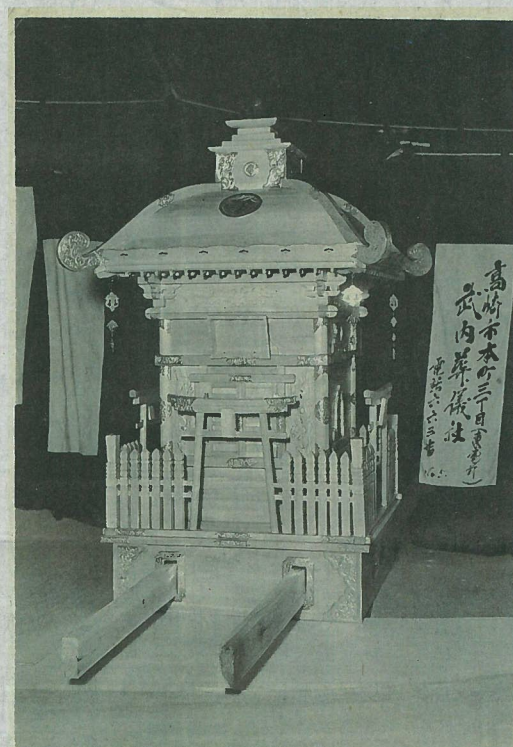
# 霊柩車県内初の導入

を始め、間もなく「武内葬儀社」と名乗った。孫太郎は当初は奉公先で習得した技術で家具を作っていたが、棺おけの制作依頼が舞い込んだことが業種転換につながったという。

「座棺」が一般的だった。同社には座棺を入れたために使われた輿の写真や家紋帳も残る。本社が現在地の本町

と伝わる。詩吟など芸術にも造詣が深かった「ようだ」と話す。その頃は誰かが亡くなれば、隣近所で段取りを付けて儀式を行っていた。武内葬儀社は、葬儀で主に葬具一式や

土葬が主流の昭和初期以前は、現在のようにならば、隣近所で段取りを付けて儀式を行っていた。武内葬儀社は、葬儀で主に葬具一式や



座棺を納めた輿（提供）

孫太郎の長男で2代目・幸一は、後の手記で「父はこれを聞いて非常に残念がった」「（自分も）『後に見てろ』と、悔しく心新たにしたものでありました」と振り返っている。結局、移転から1世紀近くたった今も、同社は同じ場所でも事業を続けている。

先見の明  
幸一は県自動車学校の1期生で、「群馬初の民間ドライバー」とも伝わる。学校では陸軍自動車隊の軍人から厳しく指導され、種々次いで甲種免許を取得。家業を手伝う前には乾燥機や酒などを運ぶ貨物車の運転をしていた時期もあった。

免許取得の背景には、将来の霊柩車の導入を見据えた孫太郎の先見の明があった。

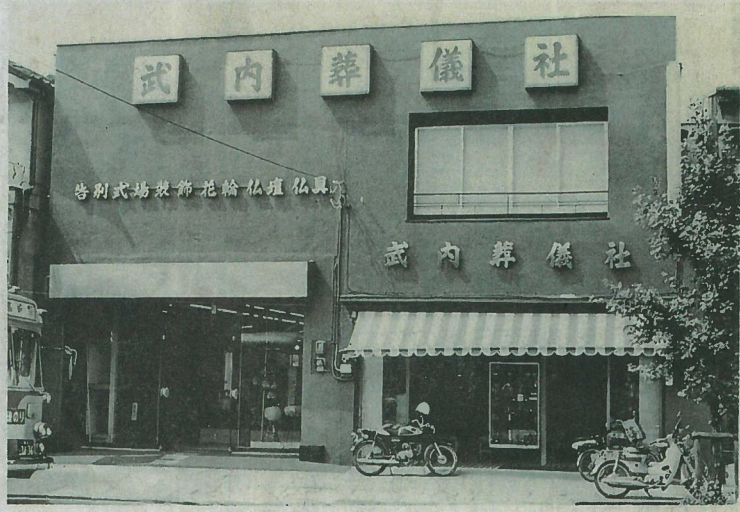
### 企業データ

- ▷本社 高崎市本町
- ▷法人化 1935年
- ▷従業員数 約90人
- ▷事業内容 葬祭業、イベント運営
- ▷拠点 高崎市本町、原町に会館

## プリエッセ（高崎市本町）



資料を前に葬儀の移り変わりを語る竹内一普社長



本町の旧社屋（1980年ごろ撮影、提供）

- 1894年 竹内孫太郎が高崎市常盤町で武内葬儀社を創業
- 1927年 現在の本町へ移転
- 34年 霊柩車を県内で他社に先駆けて導入
- 35年 合資会社として法人化。幸一が2代目代表社員に就任
- 72年 成幸が3代目代表社員就任、本社改築
- 85年 日航機墜落事故で遺体搬送支援
- 90年 功氏が4代目代表社員に就任
- 93年 新社屋完成
- 2007年 株式会社となり、プリエッセに社名変更
- 14年 5代目・一普氏が社長就任
- 19年 アルフィーネブランド立ち上げ
- 20年 中曽根康弘元首相の地元合同葬を運営



## 終戦困窮時に福祉葬

えなかった。一方で武内はこの戦争でだいぶもうけて成り金になった」といっただろう。慰霊祭で使った天幕が戻らないといふが、幸一は「残念と情けないやらで落胆し、南十字星に願を懸け、72年、幸一は三男の

方へ転戦した。東南アジアのセレベス海を航行中に敵襲に遭って海に転落し、そのまま38時間漂流した。海上を漂いながら2晩連続で

料制度を始めた。後に市と市社会福祉協議会から感謝状を受けている。

新体制となった同社は76年、現在まで続く「高砂会」を発足した。ボランティアや文化活動に取り組み地域団体を支援する会員制度で、県内では他社に先

摘している。その精神が表れた場面の一つが、85年8月12日に発生した日航機墜落事故だ。墜落現場は上野村。乗員・乗客520人が亡くなった世界最悪の航空機事故に際し、全国霊柩自動車協会（全霊協）県支部長を務めていた幸一が地元の同業者に協力を要請した。遺体搬送を支援したほか、死亡診断書を臨時発行できるように行政に働き掛けたという。

日本葬送文化学会が発行する「葬送文化第18号」（2017年発行）によると、全霊協は藤岡高校の校庭に簡易メントの本部を置き、各地から集めた霊柩車146台（延べ956台）で遺体搬送に

中国帰りの兵から「満てしまった」と書き残している。専務として兄の幸一を支えていた秀夫（後に会長）は戦時中、満州方面に赴き、後に南

成幸に経営を譲った。さらに運輸省東京陸運局に勤務していた次男、功氏（81）は現会

51は「葬儀文化は常に地域とともにあった。地元との融合や奉仕は大切な使命」と指

「戦死者が次第に多くなり、各市町村では英霊の本葬・告別式が行われ、武内はこれらの仕事を引き受けた」

増える未収金

同社は高崎に拠点を置いていた陸軍歩兵第15連隊や東部38部隊に雇われ、葬儀や慰霊祭を引き受けた。

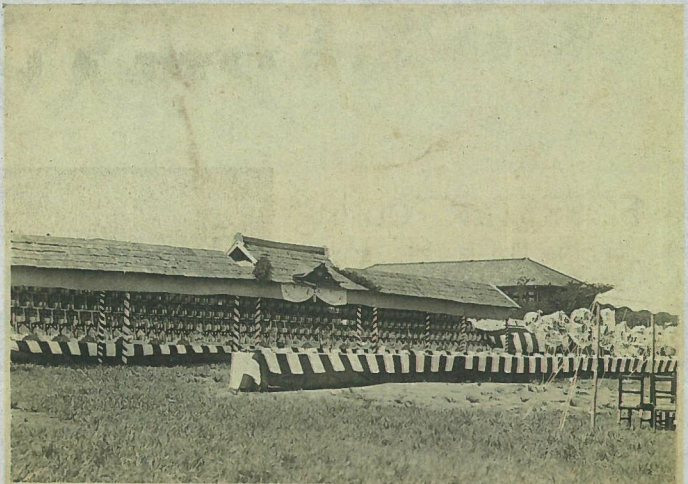
幸一の手記は「戦争が厳しくなるにつれて、葬儀代金は次第に未払いが多くなり」と続く。ある時は、経理兵から「多くの兵隊がわずか1銭5厘で通知を受けて戦死していく。未収金のことば諦



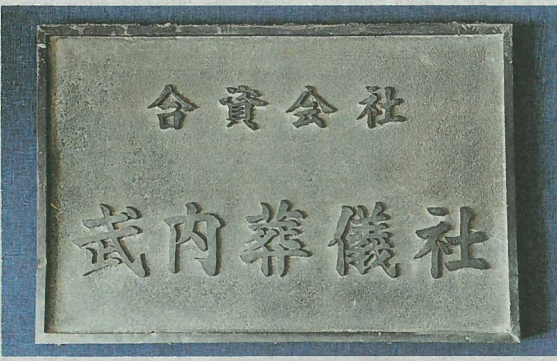
日中戦争の戦死者を弔う村葬（1940年ごろ）。「英霊」の文字が見える（提供）



1985年8月に発生した日航機墜落事故で、犠牲者の遺体は藤岡市内に搬送安置された



歩兵第15連隊による合同慰霊祭（提供）



旧社屋に掲げていた「武内葬儀社」時代の看板

当だった。協力業者は東北から関西まで1都2府15県の101社（うち県内14社）に上った。（寺島努）



# 老舗のDNA

群馬の百年企業

を新設。前後して仏壇ギャラリーのほか、生花やギフトを扱う複数の関連会社を設立し、事業の幅を広げていく。14年に成幸氏の長男、一普社長(51)が5代目を継いだ。

最大の仕事

現体制で最大の仕事のひとつが、20年11月に営まれた中曾根康弘元首相の県民・市民合同葬だ。Gメッセ群馬(同市岩手町)を会場に、福田康夫元首相や山本一太知事ら約2200人が参列した。



「葬儀の形が変わっても、故人を送る気持ちは変わらない」と話す一普社長

6人がかりで3日かけて制作した祭壇は上毛三山をモチーフとし、白菊をメインに1

党合同葬を運営した都内の業者の姿もあった。約1万平方メートルの空間を生かした地元葬の規模に驚いた業者から「プリエッセに対し、「脱帽した」との賛辞が送られたという。一普社長は小学生の頃、地元回りをしていた中曾根元首相から

## 送る思い 紡ぎ続ける

プリエッセ(旧・武内葬儀社、高崎市本町)は、平成に入った直後、立て続けに不幸に見舞われた。創業者一族で営業部長を務めていた竹内秀和氏、3代目の成幸氏、そして2代目の幸一氏が相次いで死去した。

1990年に4代目代表社員に就いた功會長(81)は、葬儀が自宅葬からホール葬に移り変わりつつあった時流をいち早く見極めた。93年に会館機能を併せ持つ新社屋の建設に踏み切った。同社はこの頃から「祈りの場所」の意味を込めた「プリエッセ武内」を通称として使い、2007年に正式に「プリエッセ」へ社名を変えた。功會長が取り入れた会館葬儀は、時代のニーズを捉えていた。同社は1996年に同市下之城町、2006年に菅谷町に会館施設

### プリエッセ (高崎市本町) 下



Gメッセ群馬で営まれた中曾根康弘元首相の地元合同葬(2020年11月)



会館機能を備えたプリエッセの現社屋

万本を超える花をあしらった。間口18メートル、高さ7・5メートル、奥行き5メートルに及ぶ。プリエッセは「祭壇は故人の壮大な人柄を表現し、会場全体ではシンプルながらもスケール感を演出できるように心掛けた」と説明する。

「竹内君、私に方が一のことがあったら君の所に頼むよ」と声を掛けられたことを覚えていいる。実際の地元葬の運営は入札で決まったが、同社は19年11月末の元首相の死去直後から、青雲塾会館(同市末広町)の記帳台設置などに奔走した。一普社長は「自分たちで葬儀まできちんと運営す

ることができて、ほっとした。(元首相との)約束を守れたような思いでいる」と振り返る。

#### 新ブランド

葬儀の潮流は現在、大規模型から家族葬へと移り変わりつつある。規模縮小の一方、个性的でこだわりのある別れの形が求められるようになった。一普

#### 取材後記

#### 葬儀の変遷とともに

昨年10月、東京・高輪で催された中曾根康弘元首相の内閣と自民党による合同葬を取材した。約640人の参列者は複数会場に分散し、祭壇のあるメイン会場に入れたのは半数程度。感染症対策のためとはいえ、少し残念に思った。その点、同じ空間に2200人を集めたプリエッセによる県民

・市民葬は「地元の面目躍如」といえる。同業者の驚きも想像に難くない。同社の歴史は日本の葬儀文化の変遷とともにあった。土葬から火葬へ、自宅葬から会館葬へ。そして今、家族葬という新たな様式が広がりを見せる。竹内一普社長は「結婚式のように、お葬式でもその人らしさを演出できれば」。時代とともに変わるもの、変わらないものについて考えさせられた。(寺島努)



「アルフィーネ」の家族葬向けリビングダイニング(本社4階)。コンセプトは「故人との最後の家族旅行」



アルフィーネの親族用ベッドルーム